

スナップ・fPL™ 動物用体外診断用医薬品／猫腭特異的リパーゼ検査用キット

主な製品仕様

スナップ・fPL は、猫血清検体中の腭特異的リパーゼを抗原として検出する酵素免疫測定法を用いたキットである。本キットは、腭炎の猫の循環血中に漏出した腭リパーゼ免疫活性 (fPLI) を検出する。

内容物	デバイス、コンジュゲート、ピペット、サンプルバイアル
貯法	2～8℃にて保存
使用目的	猫血清中の腭特異的リパーゼレベルの推定
検体	猫の血清のみ

注意 ▶▶▶ 本キットは必ず同梱の添付文書をお読みの上、添付文書の注意、保存方法、使用方法、判定方法をかならず守ってご使用ください。

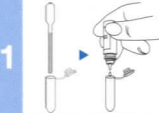



猫の腭炎について

シグナルメント	年齢：中年から高齢 性別：雄または雌 好発猫種：シャムが可能性あり
発生率	剖検に供された 67% の症例に、死因にかかわらず組織学的な腭炎が認められた。臨床的には健康な猫の 45% に組織学的な腭炎が認められた。 ¹
リスク要因	薬剤：有機リン剤 感染症：Toxoplasma gondii, 脾蛭, 肝蛭, FIP, ヘルペスウイルス, 全身強毒性カリシウイルス) 食事：猫では高脂肪食との関連は確認されていない その他：高トリグリセリド血症、高カルシウム血症、血症鈍の外傷
一般的な併発疾患	肝リビドーシス、胆管肝炎、炎症性腸疾患、糖尿病
Spec fPL 感度・特異性	感度 79% 特異性 80% ²
スナップ・fPL と Spec fPL との一致率	94%

1. De Cook HE, Forman MA, Farver TB, Marks SL. Prevalence and histopathologic characteristics of pancreatitis in cats. Vet Pathol. 2007; 44(1): 39-49
2. Forman MA, Shiroma J, Armstrong PJ, Robertson JE, Buch J. Evaluation of feline pancreas-specific lipase (Spec fPL) for the diagnosis of feline pancreatitis. JACVIM Abstract 165. J Vet Intern Med. 2009;23(3):733-734.


使用方法



あらかじめデバイスとコンジュゲートは室温に戻すこと

-  付属のピペットを用いて検体（血清）3 滴をサンプルバイアル（以下バイアル）に分注する。コンジュゲートの入ったボトルを垂直に保ちながら、バイアルにコンジュゲート 4 滴を加える。
-  バイアルのふたを閉め、3～5 回の転倒混和により検体をよく混ぜ合わせる。
-  デバイス本体を水平に置き、バイアル中の検体全てをサンプル注入口に注ぐ。サンプルは反応膜を横切りアクティブートサークルの方向に流出する。
-  サンプルがアクティブートサークルに達したら、完全に青色になる前にアクティベーターを押す。通過するのを待たないこと。このときアクティベーターが本体基部と水平になるまで完全に押し下げる。10 分後に判定を行う。

判定方法

反応膜のサンプルスポットとコントロールスポットの発色度合いを比較することにより、正常か高値かのいずれかの判定を行う。



	正常 サンプルスポットの発色がコントロールスポットよりも薄い場合。 (サンプルスポットは発色しない場合もある)
	高値 サンプルスポットの発色がコントロールスポットと同程度または濃い場合。
判定保留	
<ul style="list-style-type: none"> バックグラウンドが発色し、結果判定が困難な場合。 コントロールスポットが発色しない場合。注：判定保留の場合は、再検査を行う。 	

! 腭炎の診断にあたっては、本キットの判定結果と臨床症状、その他の検査結果を総合して判断すること。本キットの結果のみを用いて腭炎の確定診断をしないこと。サンプルスポットの発色がコントロールスポットの発色と同程度の場合は特に慎重に判断すること。

いつでも、信頼くつきり。SNAP®



販売元

ZENOQA 日本全薬工業株式会社

〒963-0196 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1
CA事業部 TEL: 024-945-2332 (ダイヤルイン) www.zenoaq.jp

●スナップ製品のご注文は、日本全薬工業株式会社までお願いします。

製造販売元

IDEXX LABORATORIES アイデックス ラボラトリーズ株式会社

〒168-0063 東京都杉並区和泉1-22-19
コンパニオンアニマルグループ ☎0120-71-4921 www.idexx.co.jp

※SNAP®は、米国およびその他の国における米国 IDEXX Laboratories, Inc. の商標または登録商標です。

09-80758-00

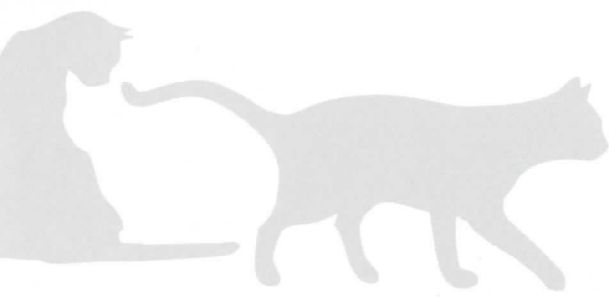
どこか元気がない猫は
腭炎かもしれません。

スナップ・fPL™

動物用体外診断用医薬品 猫腭特異的リパーゼ検査用キット

IDEXX LABORATORIES





中齢～高齢猫の体調不良

来院したその場でfPL(猫膵特異的リパーゼ)をチェック

■特徴的な臨床症状を示さない多くの猫のために

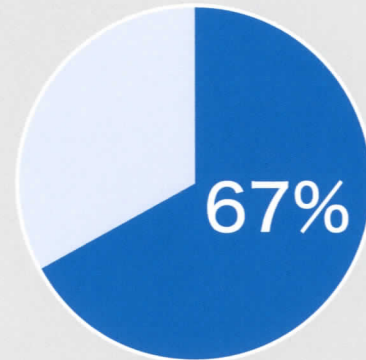
2007年のThe Journal of Veterinary Pathologyに報告された研究*で、死因に関係なく剖検を行った猫の67%に組織学的な膵炎が認められたことから、猫における膵炎の有病率が非常に高いことが示唆されています。しかしながら、現在のところほとんどは診断されていないと考えられています。

その理由としてCBCや血液化学検査においても特徴的な変化は少なく、また画像診断も犬に比べて難しいことが挙げられます。

また、**病歴・臨床症状は非特異的**であり、併発疾患で解釈が複雑になることも少なくありません。

また、膵炎に関連して**三臓器炎(膵炎・炎症性腸疾患(IBD)・胆管肝炎)**や、**糖尿病、DIC、肝リポドーシス、肝外胆管閉塞**といった重大な併発疾患を伴うこともあります。

剖検で組織学的な膵炎が認められた猫の割合* (n=115)



* De Cook HE, Forman MA, Farver TB, Marks SL. Prevalence and histopathologic characteristics of pancreatitis in cats. Vet Pathol. 2007; 44(1): 39-49

■スナップ・fPL™の検査意義

現在、高い信頼性と臨床の有効性を持つ猫の膵炎のマーカーとして利用可能なSpec fPLは、すでに日本でも多くの病院様にご支持をいただいておりますが、**猫の来院時にその場でできる迅速な検査**が切望されてきました。

10分という短い時間で検査が完了し、結果が得られることは適切な治療を速やかに開始できるだけでなく、飼主様の不安に寄り添い心理的負担を軽減させるという点で非常に大きなアドバンテージがあると言えます。また、特別な設備・機器が必要なく、操作もシンプルという点もメリットとして挙げるすることができます。

膵炎は特異的な臨床症状を持たないため、何らかの体調不良が認められるすべての猫に検査を勧めることができると言えますが、特に発生が多いと考えられる**中齢～高齢猫への検査**を推奨します。

Spec fPLとの
高い整合性 **一致率 94%**

スナップ・fPLは、Spec fPLと同じモノクローナル抗体技術を利用したfPL測定法です。スナップならではのELISA「2WAYフローシステム」だからこそ、院内で短時間で高い精度の結果が得られます。

猫の膵炎におけるSpec fPLの感度および特異性²

感度 >>>

79%

特異性 >>>

80%

試験成績例 1

Spec fPLを用いて膵特異性リパーゼ濃度を測定した猫血清検体を、スナップ・fPLを用いて測定し、それぞれ「正常」又は「高値」の目視判定を行う。1検体につき、1人の測定者が10測定、計3人の測定者による試験成績を以下に示す。

Spec fPLで測定したfPL濃度(μg/L)	予測される判定結果	スナップ・fPLにおける試験成績			
		スナップ・fPLでの判定結果			
		測定者 1	測定者 2	測定者 3	計
1.64	正常	10/10 正常*	10/10 正常	10/10 正常	30/30 正常
3.53	正常又は高値	6/10 正常	9/10 正常	9/10 正常	24/30 正常
6.10	高値	10/10 高値	10/10 高値	10/10 高値	30/30 高値

*10/10 正常: 10測定中10回を「正常」と目視判定

試験成績例 2

研究計画

4病院の熟練した獣医学専門家が合計80頭の猫の血清(1病院20検体)をスナップ・fPLで検査・判定を1回ずつ行った。Spec fPLの定量検査の値は知らずに判定を行った。

結果

94%(75検体中80検体)の解釈は一致した。Spec fPL≤3.5μg/Lで92%の一致率、Spec fPL>3.5μg/Lで100%の一致率となった。

こんなときにスナップ・fPL™

- 無気力、体調不良が見られるすべての猫(特に中齢～高齢猫)
- リスク要因(裏面参照)がある猫

〈臨床症状〉 無気力、食欲低下、脱水、体重減少、嘔吐、下痢、発熱、黄疸、腹痛、腹部腫瘍 など

臨床検査

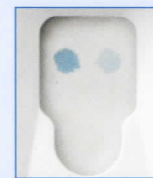
- CBC
- 血液化学検査
- 尿検査
- FeLV/FIV 検査 (リスクがあれば)
- T4 (高齢猫)

スナップ・fPL™

必要に応じ、その他の検査

- X線検査
- 超音波検査
- コバラミン(ビタミンB₁₂)
- 葉酸

正常(ノーマル)



0 | 3.5μg/L付近

Spec fPL

膵特異的リパーゼ濃度は正常範囲内です。膵炎の可能性は低いと考えられます。臨床症状を引き起こす他の疾患について、詳細に検査することが推奨されます。



膵炎の診断にあたっては本キットの判定結果と併せて必ず臨床症状とその他の検査結果を総合して判断すること。

高値(アブノーマル)



膵特異的リパーゼ濃度が上昇しています。膵炎の可能性があると考えられます。リスク要因や併発疾患(IBD、胆管炎、肝リポドーシス、糖尿病など)の検査を検討しましょう。数値による濃度を確認および治療への反応を評価するにはSpec fPLが有用です。



サンプルスポットの発色が、やや薄い・やや濃いといった判断に迷うレベルだった場合、臨床症状、その他の検査結果を総合し、特に慎重に判断すること。